

放課後等デイサービス評価表

本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など |
|----------|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | | | 大阪市では、お子さま子ども1人当たり2.47㎡の床面積相当が求められております。10人定員で24.7㎡が必要とされています。かみか企画の延べ面積は424.60㎡と十分な広さを確保しております。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | | | 管理者（薬剤師兼務）、児童発達支援管理責任者、医師、精神保健福祉士、キャリアカウンセラー、強度行動障害児支援研修修了者、元小学校教員、専門的支援指導員等にて適切に配置しています。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | | 医療法人という特性を生かし、エレベーターや避難階段が設けられ段差をできる限りなくしたバリアフリーな環境となっております。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | | | 換気は少なくとも1時間に1回行い、活動内容に合わせた適切な環境の準備を提供できるように心掛けております。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | | | 様々な特性をもったお子さまが気持ち安定しやすくなる療育に取り組める環境設定となっております。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | | | 毎日のスタッフ会議をはじめ、すべて記録に残し情報共有できるように努めております。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | | 事業所評価を踏まえまして、今後も業務改善に努めてまいります。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | | 現在は実施しておりませんが、今後必要に応じて実施の検討をいたします。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | | | 外部研修や内部研修に関しては積極的に参加をし、その習得した内容をスタッフで共有し、資質向上に努めております。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | | | 弊社のホームページ又は保護者様へのプリント配布により周知、公表しております。 |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | | | アセスメントシートにて保護者様にご記入いただいたお子さまの様子をご領域の分野でAI分析した診断結果と日々のお子さまとの関わりを通じてスタッフが感じた課題をもとに作成しております。 |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | | | 全職員がお子さまに関する支援計画に携わり、共有認識のもと特性を考慮し作成しております。 |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | | | 全職員がお子さまに関する支援計画に携わり、共有認識のもと特性を考慮し作成しております。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | | | 標準化されたツールによりアセスメントを取り、全職員がお子さまに関する支援計画に携わり、共有認識のもと特性を考慮し作成しております。 |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | | | 年度初めに、「ガイドライン」の確認を行い、モニタリング実施ごとに課題や目標を再確認し、おひとりおひとりに合わせた支援内容を設定しております。職員間でも必ず情報共有し、共有した支援を実施しております。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | | | 職員間で検討しながら活動計画を立て実施しております。 |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | | | 個々の発達段階や課題、ニーズに合わせた療育内容を実施しております。そのためには職員の外部研修を積極的に行い、情報のアウトプットができるように資質向上に努めております。 |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | | | 個別療育を得意としておりますが、お子さまの特性や必要に応じて小集団、中集団活動を組み合わせ実施しております。異年齢のお子さまとの「クリスマスパーティー」は大変ご好評いただきました。 |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | | | 可能な限り努めております。お子さまにとりましてより良い療育ができるように情報共有に努めております。 |

| | | | | |
|--------------|----|--|--|---|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | | 可能な限り努めております。お子さまにとりましてより良い療育ができるように情報共有に務めております。各スタッフが気づいたことは情報共有できる関係性を構築しております。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | | 口頭だけの情報共有ではなく、必ず記録に残し、支援の振り返りを行っております。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | | 必ず半年に1回以上のモニタリングを実施し、必要に応じて関係機関との連携会議や面談にて支援の検討を行い、見直しを行っております。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | | 障害児相談支援事業所様のご協力、ご尽力により、密にお子さまの情報共有や会議を実施することができております。 |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | | 送迎時などには必ずあいさつ以外にも情報共有を行うなど、積極的に連携支援を行っております。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | | 関係機関とは日ごろから積極的に交流し、会議にも必ず理解者が参加している。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | | ご家庭のご希望によりまして「〇〇ちゃんのすてきな小学校生活を送るためのサポートブック」を作成し移行支援を積極的に行っており、大変ご好評をいただいております。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | | 日々、連絡ツールや電話、メールなどで適切に対応しています。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | 今後必要に応じて協力機関として相互理解できるように努めたい。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | 現在該当する児童がいないが、移行する児童が今後は積極的に関係性を持ちたい |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | | 楷書年未満のため今後積極的にアドバイスをいただきたいと考えている。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | 「かみかまつり」の実施を通じまして、他の事業所のお子さまや地域のお子さまとの交流の機会をもっております。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | 保護者様との連絡ツール「コミー」で、お子さまの日々の療育方針や様子などをお伝えするとともに、保護者様からもお子さまの状況を教えていただいております。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | | 令和6年8月、令和7年3月4日実施の家族支援プログラム・ペアレントトレーニング研修に弊社児童発達支援管理責任者が受講し、スタッフへ情報提供を行っております。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ご見学時とはもとより、ご契約時、パンフレットにてご説明をまた、ご契約時、面談等でもご説明させていただいております。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | 作成をする前には必ず、保護者様のご意向、お子さまのご意向を伺い作成しております。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | | 個別支援計画の案をご確認いただき、それらを基に再度ご要望をお聞きし、「児童発達支援計画」に同意をいただいております。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | | 個人面談や参観などを通じてご支援をさせていただいております。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | | 昨年5月に開所し、まだ1年を経過しておらず、今後の検討課題をさせていただきます。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 誠心誠意、迅速かつ適切に対応させていただいております。今後もしらにお子さま保護者様のためにきめ細やかな対応を心掛けたいと考えています。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | | 保護者様との連絡ツール「コミー」はじめ、リタリコブログ・インスタグラム・弊社ホームページにて日々の活動を発信しております。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | | 弊社児童発達支援管理責任者は「個人情報取扱従事者資格」を取得しております。個人情報の保管に関しましては「鍵付き書庫」への保管を弊社で義務付けております。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | | ひとりひとりに意思疎通できる方法、伝わりやすい方法を考慮し利用します。(絵カード・文字・声掛け等)。また、契約書などに関しても拡大文字版やルビ付き、手話などで可能な限り意思伝達できるように心掛けております。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | | 「かみかまつり」の実施を通じまして、他の事業所のお子さまや地域のお子さまとの交流の機会をもっております。 |

| | | | | | |
|---------|----|--|--|--|---|
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | | いずれのマニュアルも完備しており、教室入口向かって左側の児童用ロッカー一台の上に備えてあり、いつでもご覧いただけるようになっております。また、避難訓練などアクシデント発生を想定した訓練を年2回以上実施しております。ご安心ください。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | | | いずれのマニュアルも完備しており、教室入口向かって左側の児童用ロッカー一台の上に備えてあり、いつでもご覧いただけるようになっております。また、避難訓練などアクシデント発生を想定した訓練を年2回以上実施しております。ご安心ください。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | | | ご利用時にお渡ししておりますフェイスシートにて、お子さまの様々な状況をお知らせいただいております。今後も情報共有をまいります。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | | | 現在、該当するお子さまはおられません。医師や薬剤師のスタッフが対応する体制を整えております。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | | 職員間での研修・訓練は月に1度必ず行っております。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | | | 送迎には必ず添乗スタッフが同乗し、安全確保に努めております。また、教室内でも防犯カメラを設置しお子さまが安全に過ごせるように配慮しております。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | | 保護者様には契約時の口頭説明や連絡帳津0るによって周知徹底している。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | | | 安全対策委員会を実施し、検討をしている。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | | | 身体拘束が起きない療育プログラムをこころがけ実施しております。ご契約時に身体拘束や弱体防止等についてご説明させていただきます。 |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | | | 十分検討し記載している。 |